

教員の勤務実態調査結果 概要

1 調査期間

平成27年2月5日(木)から2月26日(木)まで

2 調査対象者

全市立学校・幼稚園の教員（325校・7,565名）

3 対象期間

平成26年4月1日から平成27年1月31日まで

4 調査項目

- (1) 属性
- (2) 勤務時間内に行われている業務について
- (3) 命令による時間外勤務について
- (4) 命令によらない時間外の業務処理について
- (5) 自宅持ち帰りによる時間外の業務処理について
- (6) 精神的な負担を感じる業務について
- (7) 学校の時間外勤務等の縮減対策・市教委の取組について

5 回答者数

4,610名：回答率 60.9%

6 調査結果

(1) 時間外勤務等の実態について（P3～P4）

ア 休憩時間の自由利用について

- 休憩時間を「あまり自由にできなかった」、「全く自由に利用できなかった」と回答した職員が、全体で87.1%を占めており、全校種の比較で、前回調査時に比べ4.1ポイント増加している。

また、職種別に見ると、教頭（90.6%）が最も多く、続いて養護教諭（89.6%）、校長（87.1%）、教諭（86.9%）、栄養教諭（83.6%）、主幹教諭（83.3%）、副校長（50.0%）の順になっている。

イ 時間外勤務等について（P 5～P 7）

- 職種別では、副校長が月平均で 89.3 時間と最も多く、続いて主幹教諭の 84.8 時間、校長の 75.5 時間、教頭の 72.0 時間となっている。
- 校種別では、小学校の職員が月平均で 66.9 時間と最も多く、続いて中学校の職員の 66.8 時間、高等学校の職員 57.3 時間、幼稚園の職員 53.8 時間、特別支援学校の職員 47.2 時間の順となっている。
- 全校種・全職種の時間外勤務等の月平均時間は、65.7 時間（前回：71.7 時間）であり、前回と比べて 6.0 時間減となっている。

ウ 時間外業務及び持ち帰り業務の業務内容（P 8～P 9）

▼ 時間外業務の業務内容（全校種における上位 3 つ）

- ①授業（保育）準備 45.3%②成績処理 44.1%③学年・学級経営 27.5%の順に回答が多い。
- 前回調査では、①成績処理 51.1%②授業（保育）準備 47.8%③学年・学級経営 34.4%の順に回答が多かった。
- ①と②の順番が入れ替わっているものの、上位に占めるものは、前回調査と類似の傾向にある。

▼ 持ち帰り業務の業務内容（全校種における上位 3 つ）

- ①授業（保育）準備 51.4%②成績処理 35.1%③学年・学級経営 28.3%の順に回答が多い。
- 前回調査では、①成績処理 63.9%②授業（保育）準備 57.7%③学年・学級経営 41.5%の順に回答が多かった。
- ①と②の順番が入れ替わっているものの、上位に占めるものは、前回調査と類似の傾向にある。

(2) 精神的な負担を感じる業務及び時間外勤務等の縮減対策について
(P 11～P 16)

ア 精神的な負担を感じる業務

- ①保護者・P T A 対応 56.9%②生徒指導等（個別） 22.1%③成績処理 17.9%の順に回答が多い。
- 前回調査では、①保護者・P T A 対応 59.6%②生徒指導等（個別） 32.6%③校内での会議・打合せ等 21.8%の順に回答が多かった。
- 前回調査に引き続き、保護者・P T A 対応に対して負担を感じている職員が多い。

- イ 業務以外を含め、日常、精神的な負担を感じていること
- ①仕事（適応）34.6%②仕事（その他）18.0%③人間関係（保護者）12.2%の順に回答が多い。
 - 前回調査では、①仕事（勤務条件）35.3%②人間関係（保護者）25.4%③仕事（適応）25.1%の順に回答が多かった。
 - 上位に占めるものは、前回調査と類似の傾向にある。
- ウ 時間外勤務等の縮減方法について
- ①人員増 44.9%②校内組織・体制の見直し等 32.9%③日常業務の効率化・削減等 16.3%の順に回答が多い。
 - 前回調査では、①人員増 42.6%②日常業務の効率化・削減等 29.4%③諸会議の簡素化、効率化 15.8%の順に回答が多かった。
 - 前回調査に引き続き、「人員増」についての回答が多い。

(3) 学校の時間外勤務等の縮減対策・市教委の取組について
(P 17～P 18)

平成19年2月に実施した調査項目に「学校の時間外勤務等の縮減対策・市教委の取り組みについて」という内容の3つの設問を追加

- ア 修学旅行等の要領等振替特例により
「負担が減った」「やや負担が減った」という方は 33.2%
- イ 校務支援システムにより
「負担が減った」「やや負担が減った」という方は 44.7%
- ウ 「スクールカウンセラー」等の専門家の配置により
「負担が減った」「やや負担が減った」という方は 58.5%